

2019.7-9

資産運用状況
Quarterly Report

東京金属事業企業年金基金

用語の解説

- 修正総合利回り

資産の運用成果を評価する評価基準の一つで、簿価ベースの平均残高利回りである総合利回りの分母に前期末の評価損益および未収収益を加えることによってより時価に近い金額に修正した収益率。

計算式：修正総合利回り(%) = (実現収益 + 未収収益増減 + 評価損益増減) / (元本平均残高 + 前期末未収収益 + 前期末評価損益) × 100

- ベンチマーク

運用成果を評価する際に相対比較の対象となる基準指標のことをいい、市場の動きを代表する指標を用います。

国内債券・・・NOMURA-BPI総合

野村証券金融工学研究センターが算出・公表する日本の公募債券流通市場全体の投資収益指数で、1983年(昭和58年)12月末を100として指数化したもの。

国内株式・・・TOPIX(配当込み)

東京証券取引所が東証一部に上場する国内株の全銘柄の時価総額を基に算出する株価指数で、1968年(昭和43年)1月4日を100として算出したもの。

外国債券・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本)

ロンドン証券取引所グループのFTSEラッセルが算出・公表する世界主要国の国債の投資収益指数で、1984年(昭和59年)12月末を100として算出したもの。

外国株式・・・MSCI-KOKUSAI

モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル社(MSCI Inc)が算出・公表する国際的な株価指数で、日本を除く先進国22ヵ国の上場企業の株価指数で構成。

2019年度第2四半期運用状況

2019年度第2四半期の内外株式市場は、7月は欧米の金融緩和期待や米中貿易協議の進展期待などを背景に小幅ながら上昇しました。しかしながら、8月に入ると、米トランプ大統領が第4弾の対中追加関税発動を表明したことや、中国がこれに対する対米報復関税の発動を表明するなど、米中貿易摩擦が激化したことを受け、大きく下落しました。9月は、前半は米中貿易協議の再開合意を受け、貿易摩擦の激化懸念が後退したことや、世界的な金融緩和への期待感から景気減速懸念が和らいだことで内外株式は上昇基調で推移しましたが、その後はサウジアラビアの石油施設への攻撃やトランプ大統領への弾劾調査が重石となり一進一退の値動きとなりました。

なお、為替は、ドル/円はわずかながらプラス寄与となりましたが、ユーロ/円は期中を通じて円高基調で推移したため、マイナス寄与となりました。

このような市場環境下において、当基金の第2四半期の運用実績は1.30%、通期では1.94%となりました。

	2018年度	2019年度				
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度通期
収益率(%)	1.22	0.56	1.30			1.94
収益額(千円)	12,732	7,762	21,565			29,327
期中元本平均残高(千円)	1,041,198	1,369,580	1,634,667			1,502,848
期末運用資産額(千円)	1,234,768	1,625,786	1,718,639			1,718,639

(注) 収益率は修正総合利回り

1. 2019年度 第2四半期運用環境

【各市場の動き（7月～9月）】

国内債券：7月の10年国債利回りは、狭いレンジで推移し-0.16%で終わりました。8月には、米国が第4弾の対中追加関税の発動を表明したこと等による貿易摩擦の激化懸念や、米国の長短金利の逆イールド発生から景気後退への懸念が高まったことで利回りは-0.28%に低下（債券価格は上昇）しました。9月は、米中貿易協議の進展期待などから上昇（債券価格は下落）基調で推移し、その後は、マイナス金利深掘りの思惑を呼ぶ日銀総裁の発言などから反転し、-0.22%で終わりました。

国内株式：7月は、欧米の金融緩和期待や米中貿易協議の進展期待などから小幅に上昇しましたが、8月に入ると、米国が第4弾の対中追加関税の発動を表明したことや、中国が対米報復関税の発動を表明したことを受け、貿易摩擦の激化懸念が高まったことで大きく下落しました。9月は、月前半は米中貿易摩擦を巡る懸念の後退や円安進行などをを受け上昇基調で推移しましたが、その後はサウジアラビア石油施設攻撃や米大統領弾劾調査開始などの影響で伸び悩み、日経平均は2万1700円台半ばで終わりました。

外国債券：7月の米国10年国債利回りは堅調な経済指標を受け小幅に上昇しました。8月には、米中貿易摩擦の激化や長短金利の逆イールドの発生などをを受けリスク回避姿勢が高まったことで利回りは1.50%まで低下しました。9月は、米中貿易協議の進展期待などから上昇しました。為替はドル/円は若干のプラス、ユーロ/円はマイナス寄与となりました。

外国株式：7月の米国株式は、上旬は、米中貿易協議の進展期待やF R Bによる金融緩和期待などから、N Yダウ平均が史上最高値を更新する局面もありましたが、下旬には高値警戒感から下落し小幅な上昇となりました。8月は、米中両国の追加関税の発動表明など貿易摩擦の激化懸念から下落しました。9月は、中旬にかけては米中貿易協議の進展期待などから上昇基調で推移しましたが、その後は米大統領弾劾調査が重石となり一進一退の値動きとなりました。為替はドル/円はプラス、ユーロ/円はマイナス寄与となりました。

◇参考指標

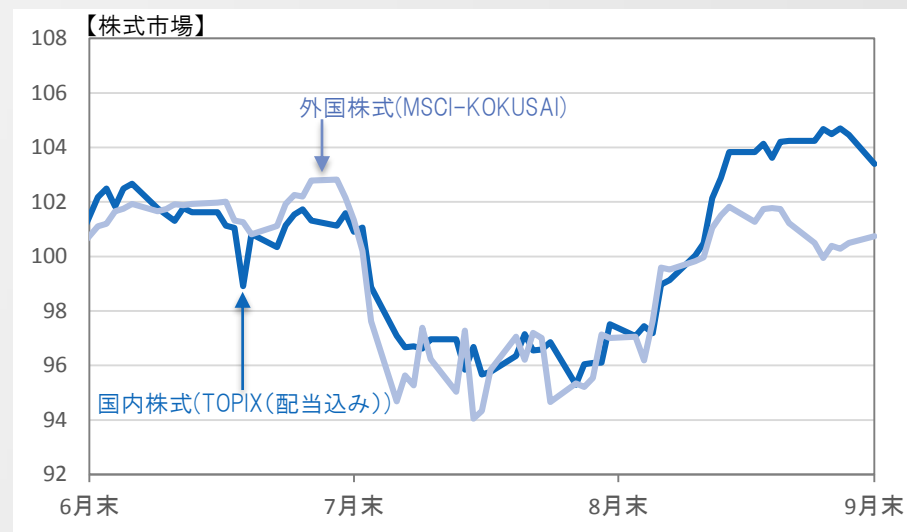
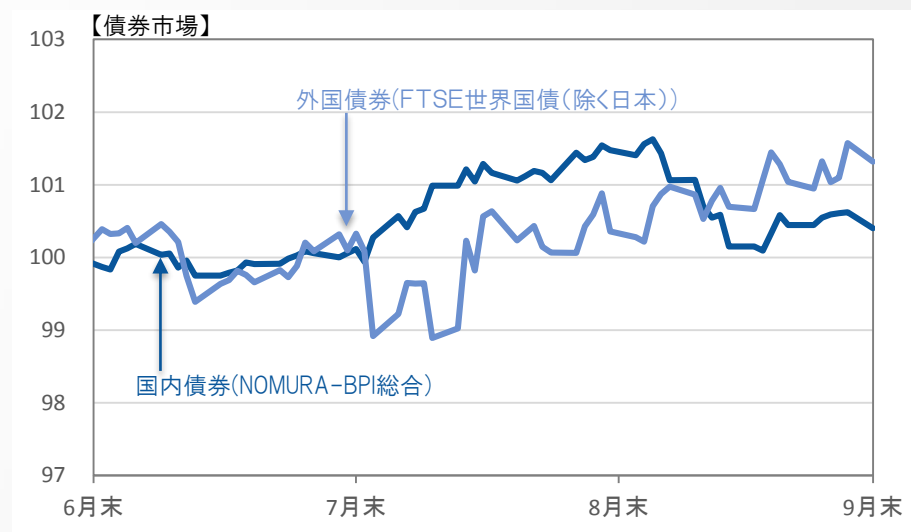
		2019年3月末	2019年6月末	2019年7月末	2019年8月末	2019年9月末
国内債券	10年国債利回り (%)	-0.10	-0.17	-0.16	-0.28	-0.22
国内株式	TOPIX配当込み (ポイント)	2,395.21	2,338.89	2,360.18	2,280.58	2,418.29
	日経平均株価 (円)	21,205.81	21,275.92	21,521.53	20,704.37	21,755.84
外国債券	米国10年国債利回り (%)	2.41	2.01	2.02	1.50	1.67
	ドイツ10年国債利回り (%)	-0.07	-0.33	-0.44	-0.70	-0.57
外国株式	NYダウ (ドル)	25,928.68	26,599.96	26,864.27	26,403.28	26,916.83
	ドイツDAX (ポイント)	11,526.04	12,398.80	12,189.04	11,939.28	12,428.08
為替	ドル/円 (円)	110.69	107.74	108.58	106.15	108.08
	ユーロ/円 (円)	124.28	122.69	120.89	116.89	117.82

◇ベンチマーク収益率

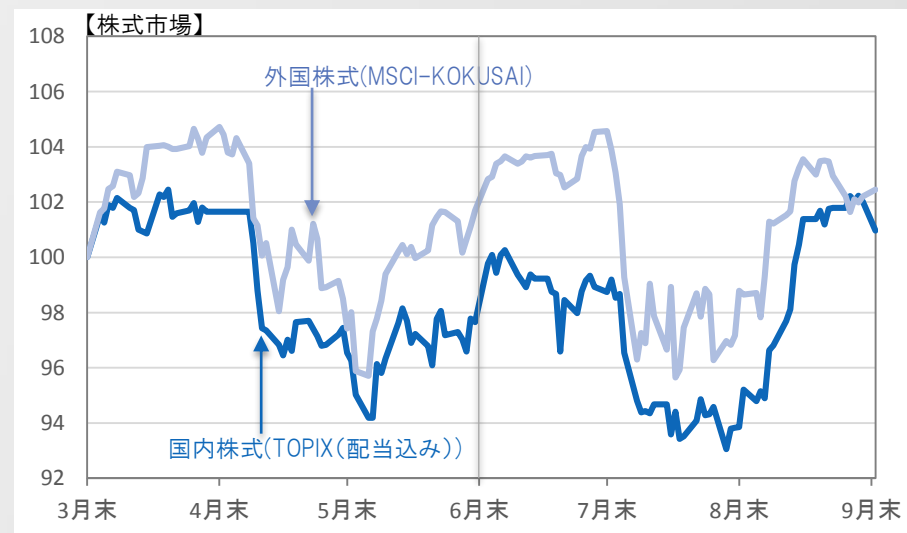
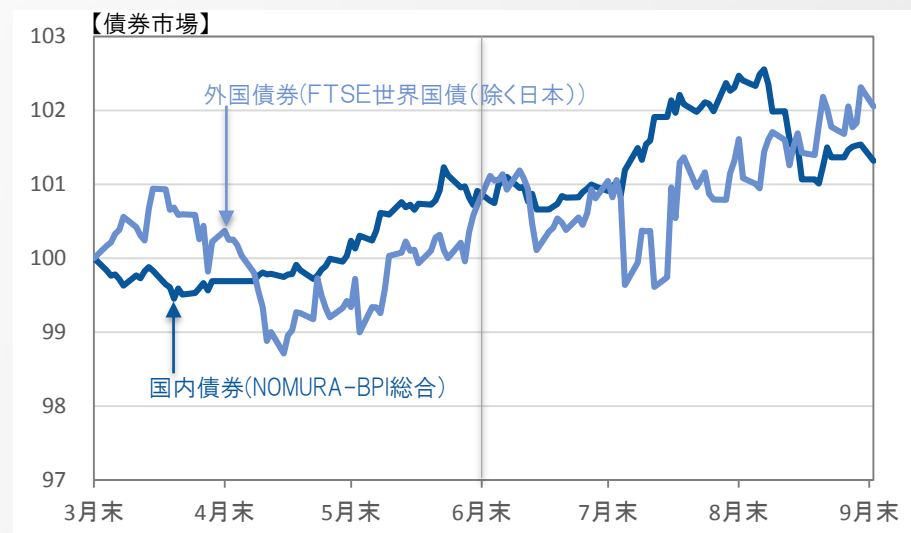
	2019年7月～9月
国内債券 NOMURA-BPI総合	0.40%
国内株式 TOPIX(配当込み)	3.39%
外国債券 FTSE世界国債(除く日本)	1.32%
外国株式 MSCI-KOKUSAI	0.74%

(注) ベンチマーク収益率は、期中のキャッシュフローを考慮しない収益率

市場インデックスの推移(2019年度 第2四半期) 6月末=100とした市場の動き



市場インデックスの推移(2019年度 通期) 3月末=100とした市場の動き



2. 資産クラス別収益率・収益額の状況

	2018年度	2019年度				
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度通期
収益率 (%)	1.22	0.56	1.30			1.94
国内債券	1.87	0.96	0.55			1.47
国内株式	-5.90	-1.82	3.63			2.32
外国債券	3.31	0.91	1.36			2.32
外国株式	9.38	2.41	1.02			3.32
短期資産	-0.03	-0.01	-0.01			-0.02

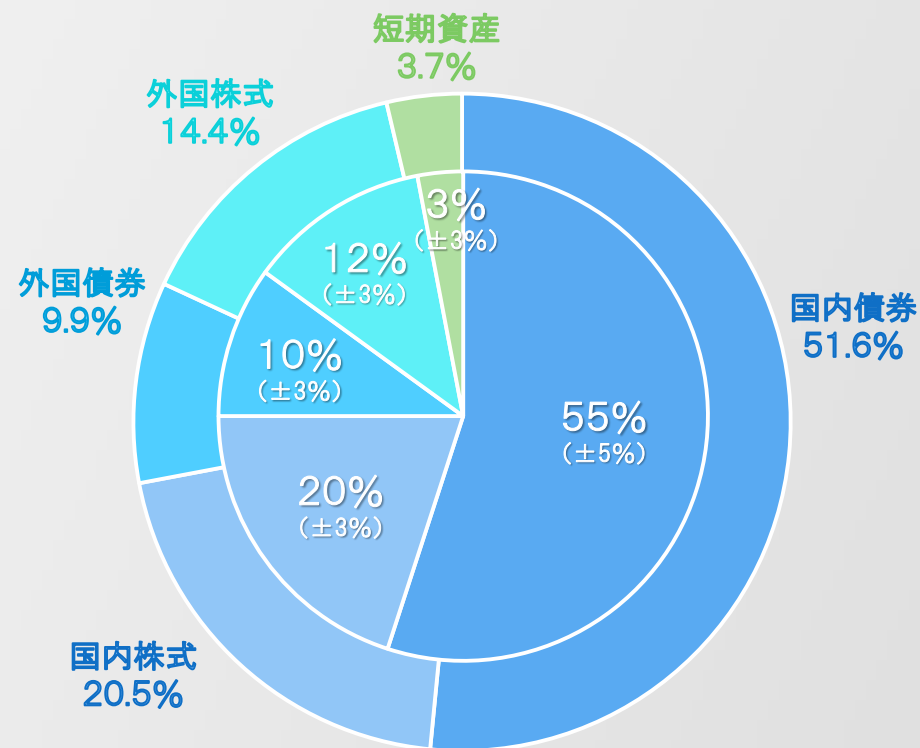
	2018年度	2019年度				
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度通期
収益額 (千円)	12,732	7,762	21,565			29,327
国内債券	10,599	6,926	4,789			11,714
国内株式	-12,455	-4,984	12,105			7,121
外国債券	3,388	1,237	2,258			3,495
外国株式	11,215	4,587	2,419			7,006
短期資産	-15	-5	-6			-10

3. 運用資産額・構成割合

	資産額 (千円)	構成割合	基本ポートフォリオ		乖 離
			中心値	許容乖離幅	
国内債券	886,010	51.6%	55%	±5%	−3.4
国内債券	709,133	41.3%	44%	±3%	−2.7
ヘッジ外債	176,876	10.3%	11%	±3%	−0.7
国内株式	352,687	20.5%	20%	±3%	+0.5
外国債券	169,553	9.9%	10%	±3%	−0.1
外国株式	246,811	14.4%	12%	±3%	+2.4
短期資産	63,578	3.7%	3%	±3%	+0.7
合 計	1,718,639	100.0%	100.0%		—

(注) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

※ 2019年度の資産運用方針において、国内債券について−2%、外国株式について+2%のウェイト調整を行っています。



内側：基本ポートフォリオ（カッコ内は乖離許容幅）
外側：2019年9月30日時点